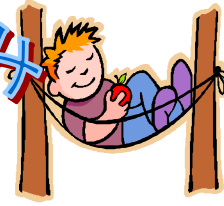


最近の大阪経済

改善傾向は一休み

回復基調は変わらず



大阪府立産業開発研究所調べ

大阪府立産業開発研究所はこのほど、「最近の大阪経済の動き」をまとめました。ほとんどが平成17年2月の各種統計数字を基本に調査したものです。それによると、生産は2ヶ月ぶりに増加したものの、大型小売店、家電販売などで需要が鈍く、雇用面も今ひとつ。これまで続いた景気回復傾向に一服感がみられる」としています。しかし、先に内閣府が発表したのと同様、情報関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向には留意する必要があるものの、景気は回復へ向け底堅く推移している、としています。

【需要面の情勢】

消費 大阪府の大型小売店販売額は2ヶ月ぶり減少

大阪府の2月の大型小売店販売額は、天候不順で春物商品に動きが見られなかったこと、閏年だった前年より1日少なかったことで、前年同月比6.3%減と2ヶ月ぶりに減少しました。商品別で見ると、家庭用電気機械器具を除くすべてで減少し、家具、家庭用品、婦人・子供服などでは2桁の大幅減少になりました。百貨店で5.7%、スーパーで7.1%のともに減少でした。

耐久消費財 近畿の家電販売は2ヶ月ぶり減少

2月の近畿の大型家電量販店の販売実績は、前年同月比で2.8%減と3ヶ月ぶりに減少。テレビ、DVD、エアコンはかなり増加しましたが、パソコン、デジカメなどは減少しています。全国的な傾向もほぼ、同じようなものでした。2月の新車販売台数（普通、小型、軽の合計）は前年同月比0.9%減と2ヶ月連続で減少。全国的には0.4%減で、同じく2ヶ月連続の減少でした。

住宅投資 住宅建設は3ヶ月ぶりの減少

新設住宅着工戸数は、前年同月比2ヶ月ぶりに減少。特に分譲住宅が27.9%も立ちました。しかし、全国の新設住宅着



10.3%減と3ヶ月減少したのが目立ちは前年同

月比0.4%と2ヶ月連続で増加しています。

設備投資

2月の大阪府の公共工事請負金額は、前年同月比9.0%増と4ヶ月連続で増加しました。

【生産面の情勢】

大阪府の生産は前月比2ヶ月ぶりの増加

1月の大阪府の製造工業生産指数は96.3で、前月比9.2%増え、2ヶ月ぶりの増加、前年同月比でみると、6.5%増と8ヶ月連続で増加しました。

【雇用面の情勢】

求人倍率

2月の大阪府の有効求人倍率(季節調整値)は0.94倍、新規求人倍率(同)は1.54倍で、前月に比べて有効は0.01ポイント、新規は0.02ポイントの低下になっています。2月の全国の数字は有効求人倍率0.91倍、新規求人倍率は1.48倍になっています。



また、2月の近畿の完全失業率は5.7%で、前年同月比0.3ポイント下がり7ヶ月連続の低下になりました。

所定外労働時間

1月の大阪府の常用雇用労働者総実労働時間(事業所規模5人以上)は138.7時間で、前年同月比0.6%減と2ヶ月ぶりの減少。所定外労働時間は10.0時間で、同3.1%増と7ヶ月ぶりに増加しました。

【貿易動向】

近畿圏、35ヶ月連続で増加

2月の近畿圏の輸出通関額(速報)は、前年同期比1.7%増で35ヶ月連続の増加。電気計測機器、鉄鋼、建設、鉱山用機械などが増えました。中国、EU向けは減ったが、韓国、台湾、シンガポールなどアジアNIESが36ヶ月連続、米国向けも12ヶ月連続の増加となりました。

【物価動向】

大阪市は前年同月比で4ヶ月連続下落

3月の大阪市消費者物価指数は97.6で、前月比0.5%上昇。室内装飾品、肉類などは下落しましたが、シャツ、セーター類、洋服などが上がりました。しかし、前年同月比でみると0.6%下落で4ヶ月連続のダウンになりました。

【倒産動向】

大阪府の倒産は2ヶ月連続で前年同月を下回る

2月の大阪府の企業倒産(東京商工リサーチ調べ)は111件で前年同月比21.8%減、負債金額は2,790億円で同170.0%増となり、件数では2ヶ月連続で前年同月を下回りました。

まとめ (株)大阪彩都総合研究所 橋本 剛